



藤本 秀樹 議員



動画配信中

郷土民謡の八木節継承のために！

とちぎ国体の開催に合わせて郷土民謡の八木節を披露し、本市のPRにつなげるとともに、その取り組みを契機として学校においても八木節の継承を推進すべきと考えるがどうか。

教育次長

足利市で行う国体競技ごとの開始式等において八木節の披露を検討する。本市の取り組みでは小中学校において、授業に八木節を活用している学校もある。また、足利市八木節連合会と共催で八木節教室を毎年開催しており、小学生など若い世代の受講者もふえている。

◆コミュニティ放送局の開局

災害発生時の情報伝達手段として、コミュニティ放送局が有効であると考えるが、開局に対する考えを聞きたい。

総務部長

同放送局の開局には多額の費用を要するほか、受信エリアや開局後の運営資金確保の課題もあり、赤字経営の放送局が多いことから、現状での開局は難しいと考える。災害時の情報伝達手段については、市民の安全・安心が確保できる手法を国・県の動向や先進自治体の事例を参考にしながら検討していく。



鶴貝 大祐 議員



動画配信中

市役所に手話通訳者の配置を！

聴覚障がい者の方が来庁した際、申請等のコミュニケーション支援を行うために手話通訳者を配置する市町がふえている。情報保障や合理的配慮の観点からも必要と考えるがどうか。

健康福祉部長

本市では足利市社会福祉協議会に委託し、足利市総合福祉センター内に手話通訳者を1名配置している。日や曜日等を決め、市役所へ配置することも有効であることから、同協議会と協議し、よりよい環境の整備を進めていく。

◆児童虐待防止対策の強化

児童虐待により幼い命が奪われる事件が連日のように報道されている。子どもを守る万全な対策と、他市をリードする積極的な施策の推進を願うがどうか。

健康福祉部長

児童虐待に的確に対応し、より専門的な相談支援業務による体制を強化するため、子ども家庭総合支援拠点の設置を視野に入れた組織強化を図っていく。これまで以上に警察や児童相談所等と緊密な連携を図り、地域全体で子どもたちを虐待から守れるよう努めていく。



小林 貴浩 議員



動画配信中

令和の時代にふさわしいまちづくりを！

まちづくりへの市民参加の機会がふえてきたと感じているが、今後さらに機会をふやし、市民の声をまちづくりに反映させるべきと考えるがどうか。

総合政策部長

第7次足利市総合計画では、市民力を生かしたまちづくりを目指している。近年、市民力による活動はますます広がりをを見せており、着実に本市の理念が浸透してきていると感じている。今後も取り組むべき課題や状況に応じ、適宜市民の参画をいただきながら、新しい時代のまちづくりに取り組んでいく。

◆地方分権のさらなる推進

国は地方分権改革の推進に当たり、個々の地方公共団体等から改革に関する提案を広く募集する提案募集方式を平成26年に導入した。平成29年には提案自治体の多くが実現につながったというが、本市の対応について聞きたい。

総務部長

本市を含め約8割の自治体に提案実績がなく、これは一般市町村の財政効果につながらないことが要因と推察される。厳しい財政状況を踏まえ、引き続き効果的な提案について研究していく。